

2015年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	地域施設の計画						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2		
必修・選択の別	選択						
担当者	井原徹 井上聡 清原昌洋						
授業の到達目標 (シラバスから)	建築計画の方法とプロセス、およびその対象と各種施設タイプを理解できる(A6,B4) ・各種施設タイプにおける独自および共通の計画理念と計画手法を理解できる(A6,B4) ・生活・社会・経済・技術・芸術など様々な条件と建築計画の関係を理解できる(A6,B4) ・建築空間の具体化の指針となる概念(モデル)について理解できる(A6,B4)						
日程と内容	第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価の方法／交流施設の類型 第2回：事務所(1)：種類、空間構成(レントラブル比、コアタイプ)、全体計画 第3回：事務所(2)：基準階の計画(オフィスレイアウト) 第4回：事務所(3)：基準階コア内の計画、特殊階の計画、駐車場の計画 第5回：交流・集会施設：コミュニティセンター・公民館の体系、全体計画と構成要素 第6回：福祉施設(1)：高齢者施設の体系、高齢者施設の計画、ユニットケア 第7回：福祉施設(2)：障害者施設の計画、グループ居住、ユニバーサルデザイン 第8回：福祉施設(3)：幼稚園・保育所の計画、ほふく室と遊戯室及びその他の諸室 第9回：教育施設(1)：学校建築の変遷と計画課題、学級教室とオープンスペースの変遷 第10回：教育施設(2)：配置計画とはきかえ方式、運営方式と教室の計画、管理諸室・運動場 第11回：博物館・美術館(1)：部門構成と全体計画、展示空間の計画 第12回：博物館・美術館(2)：収蔵空間の計画、アトリエ及び管理諸室 第13回：劇場・ホール(1)：分類とステージ形式、部門構成、全体計画、舞台の計画 第14回：劇場・ホール(2)：客席の計画、オープンステージ、舞台裏の計画 第15回：これまでの授業の総括、定期試験に向けた総合演習と解説 定期試験						
成績評価基準	定期試験 臨時試験 報告書・レポート 課題 演習		70% 30%	実技 部外評価 プレゼンテーション		計	100%
授業到達目標の達成度	建築計画の方法とプロセス、およびその対象と各種施設タイプを理解できる----100% ・各種施設タイプにおける独自および共通の計画理念と計画手法を理解できる----100% ・生活・社会・経済・技術・芸術など様々な条件と建築計画の関係を理解できる----100% ・建築空間の具体化の指針となる概念(モデル)について理解できる----100%						
反省点	個別の建築種別のために、利用経験が少なく、どのような建物かイメージすることが難しい物も多い、そこで、出来るだけ実例写真を用いた説明を行っているが、実物に勝る教材はないのが現状である。また、大学近隣にその事例があれば良いが、近隣にはないものが多く今後の課題である						
来年度の計画	各種建築の実例について学生の課題として見学を推奨することで、実際に足を運んで体験学習できるように、演習課題を一部見学レポートにして対応を予定している。						
授業評価アンケートに対するコメント	実例の写真でよく分かったという意見を頂いた。						
履修登録者数	68名	定期試験 受験者数	57名	合格者数	48名	合格率	84%